

新しい年になりました



1年の計は元旦にあり。年の初めに、今年こそ勉強ができるように、あるいはスポーツで活躍したいなど、新たな目標を立てたり、夢を抱く人が多いのではないのでしょうか。

しかし、どうしても三日坊主になりがちで、なかなか目標が達成できたり、夢を叶えることができません。そんなみなさんに、図書館からおすすめの本を紹介します。

「願いがかなう！夢ノートのすすめ」 中山庸子

夢をかなえるために、まずお気に入りのノートを用意しよう。「夢ノート」があれば、放課後がさびしくない。自分の夢、好きなこと、かっこいい言葉、行ってみたいところ、……。『夢のタネ』を書きだすと未来が変わります！

「やる気スイッチ」が入る！30のヒント」 松田正男

勉強も、勉強以外も自分を信じて努力を続け夢をかなえる人になろう。個別指導・幼児教育の第一人者が自らの体験をまじえ「やる気」になる秘訣を教えます！

「夢を持ってはいけません 目標達成力を身につける」 佐々木宏

夢に日付けを入れると目標が変わる。だから、日付けのない夢を持ってはいけない。「夢」に「日付」を入れ、「目標」にした瞬間、君の生活は一変します。そのほか、「1日5分で君は変われる」など、ためになる本があります。ぜひ、読んでみてください。

中央図書館2階には、10代のみなさんのための読書席、ティーンズシートがあります。また、図書館では、調べ物のお手伝いや図書館に所蔵していない図書のリクエストも受付けています。今年はぜひ、図書館を有効に利用してください。

Teens Joy

10代のみなさんへのおすすめ図書リスト



No.20 2015.2

清瀬市立図書館

真夜中のディズニーで
考えた働く幸せ

鎌田 洋／著
河出書房新社



ディズニーランドで働きたいと奮起し、採用試験に挑戦するも落ち続ける日々…。5度目でようやく採用されるが、まさかの清掃部門＝カストーディアルという部署だった。しかもナイトカストーディアルという真夜中の仕事。本当に人生は山あり谷ありで、思い通りにはいかない。

ディズニーのオープニングスタッフとして働いていた著者が、働きながら「仕事」や「人生」について考えたこととは…。「過去は変えられないが、未来は変えられる。」未来はあなたの手の中にあるんだよ、と著者は語ります。

<中央図書館 工藤 >

ルーシーは名門のピアニストの家に生まれた、才能豊かな15歳。数々のコンクールで賞賛を浴びてきたが、プラハの舞台を機に、ピアノを辞めてしまう。

厳格な祖父と母、まだ幼いながら将来を期待される弟、家族との関係に悩み迷っている時、年上のピアニストのウィルと出会い、ルーシーは次第に自分のなかの「音楽への愛」に目覚めていく…。

誰かにおしつけられた人生から、挫折や出会いそして別れを通して自立し、ルーシーが成長していく姿を描き、彼女の心の繊細な動き、成長と一緒に悩み、感動できる物語です。

<中央図書館 栗本>

ルーシー変奏曲

サラ・ザール／著
小学館



ボブスレーは冬季五輪の競技種目であり、欧米では人気のスポーツです。

「下町ボブスレー」とは大田区の工場が中心になって、日本の若い世代にモノづくりの面白さを感じてもらうため、また下町の中小企業の技術力をアピールするためのプロジェクトです。

「不思議な縁」「小さな奇跡」そして「さまざまな人情」。オールジャパン体制で“氷上のF1”を目指すプロジェクトに関わった、80余人の証言をもとに描く涙あり笑いありの「リアル・ストーリー」です。

<中央図書館 佐藤>

下町ボブスレー

伴田 薫／著
NHK出版



三省堂国語辞典のみみつ

飯間 浩明／著
三省堂



国語辞典にはそれぞれ個性があり、言葉の深い意味、思わずニヤリとしてしまう用例など説明の仕方が出版社によって全然違います。

ちなみに、この「全然」という言葉ですが、夏目漱石が明治39年に発表した「坊っちゃん」の文中で、すでに「全然悪い」という使い方がされていました。つまり、肯定形・否定形両方の言い方があったということです。

この本には、辞典を作るために日々奮闘している著者の様子が具体例を用いて分かりやすく書かれています。辞典は意味を調べるだけではない、読んでも面白い！そんな風に思わせる一冊です。

<駅前図書館 金子>